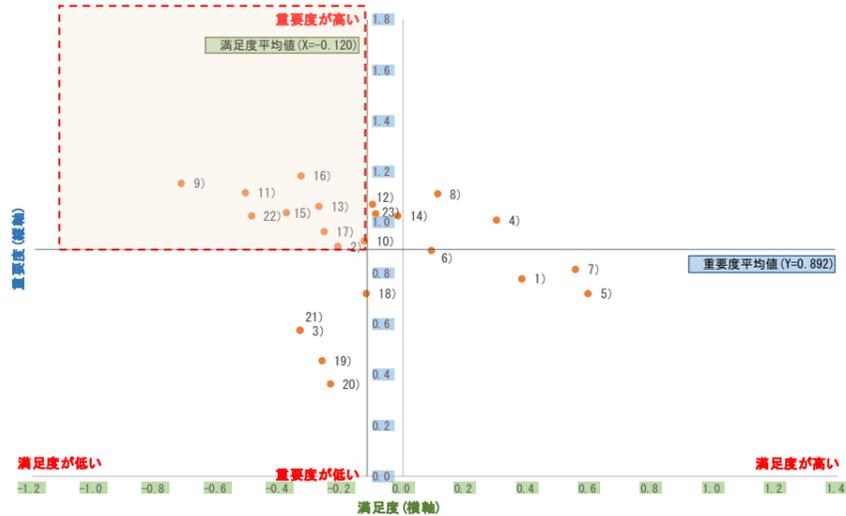


1. 市民アンケート・地域別説明会の意見等

1-1 市民アンケート結果（中郷地域のみ）

- 「居住地域における生活環境」では、平均よりも重要度が高いが満足度が低い項目として、「9) 公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ」、「11) 歩行者・自転車に対する道路の安全性」などの9項目があがっています。



項目
1) 自然・緑とのふれあい
2) まちなみやまちなみ景観の整備
3) 歴史文化・観光資源の充実
4) ごみ・し尿処理
5) 悪臭
6) 騒音・振動
7) 日照・通風
8) 買い物の便利さ
9) 公共交通機関（鉄道・バスなど）の便利さ
10) 道路の整備
11) 歩行者・自転車に対する道路の安全性
12) 防災上の安全性
13) 避難場所や避難路
14) 防犯上の安全性、治安
15) 河川の整備
16) 医療施設の整備
17) 福祉施設の整備
18) 子育て支援施設の整備
19) 文化・教養施設の整備
20) スポーツ施設の整備
21) 公園の整備
22) 高齢者などに配慮したバリアフリーの推進
23) 総合的に見た生活環境

- 「居住地域における現在の土地や建物の状況」では、「集合住宅（アパートなど）が増えてきた」の割合（74.1%）が最も高くなっています。
- 「敦賀市の今後のまちづくりの方針」では、「雪や災害に強いまちづくりを進める」の割合（15.4%）が最も高くなっています。

1-2 第1回地域別説明会における意見等

- 令和2年1月31日（金）に中郷公民館にて計画の内容を説明しました。参加人数：6名。主な意見等は以下のとおりです。

土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 工場の横の土地は、地価が上がらないような対応をするなど計画を立て、みんなが住みやすくなるようなまちを作っていければ良い。 地価が安いところへ人が流れ、そこに住宅を建てるため、工業と住宅地が混在するという問題になる。 高速のインターチェンジが近いため、運送関係の事業所が集まり、住環境として好ましくない。
道路	<ul style="list-style-type: none"> ふるさと夢街道が整備されたことで、栗野地区にとっては便利になったが、中郷小学校の所の道は朝晩大変混雑し、かえってマイナスになった。 新幹線駅が整備された後、国道8号にどのような形で合流するのか。
自然環境	<ul style="list-style-type: none"> 道路脇、山林へのゴミが最近目立っている。

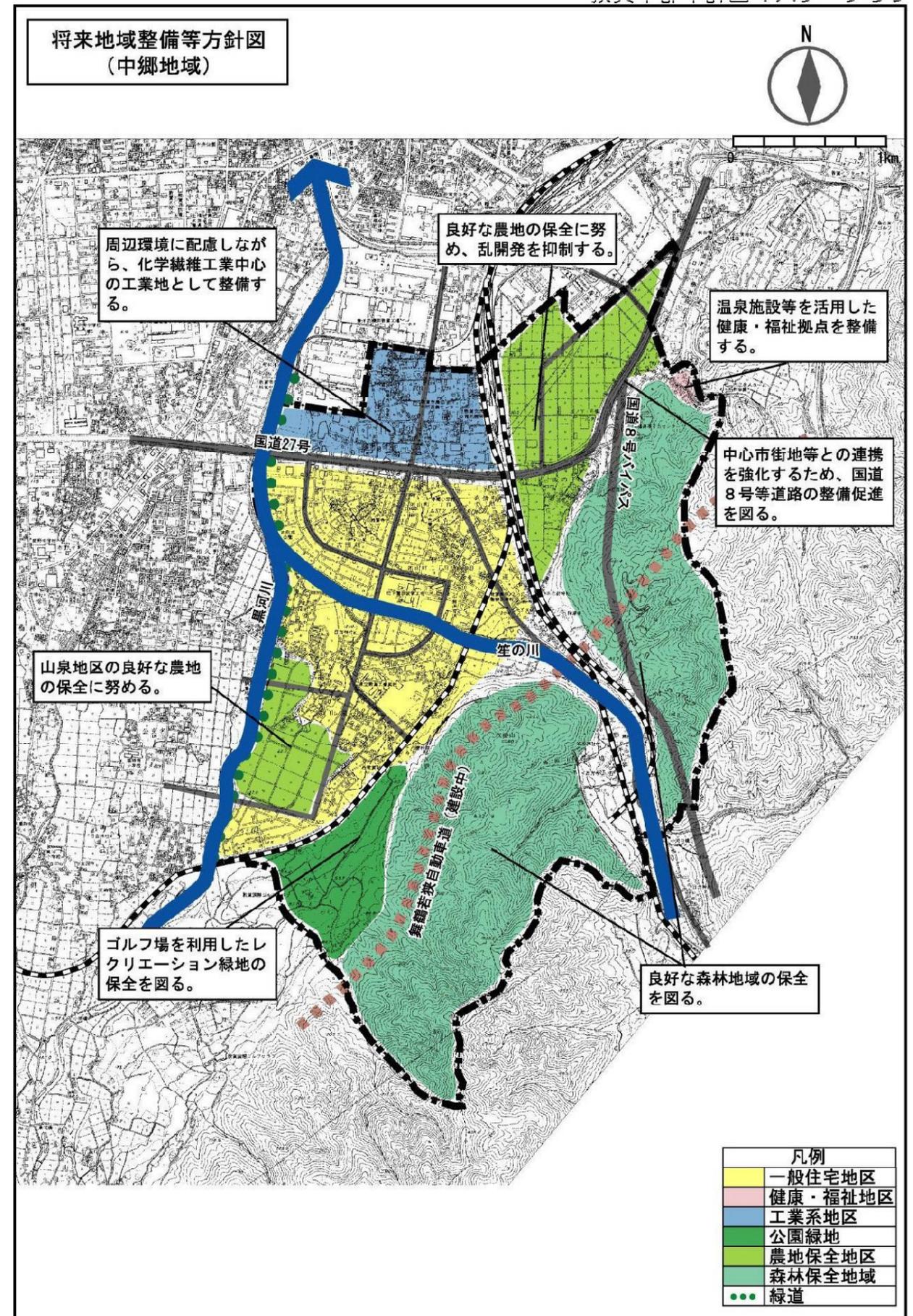
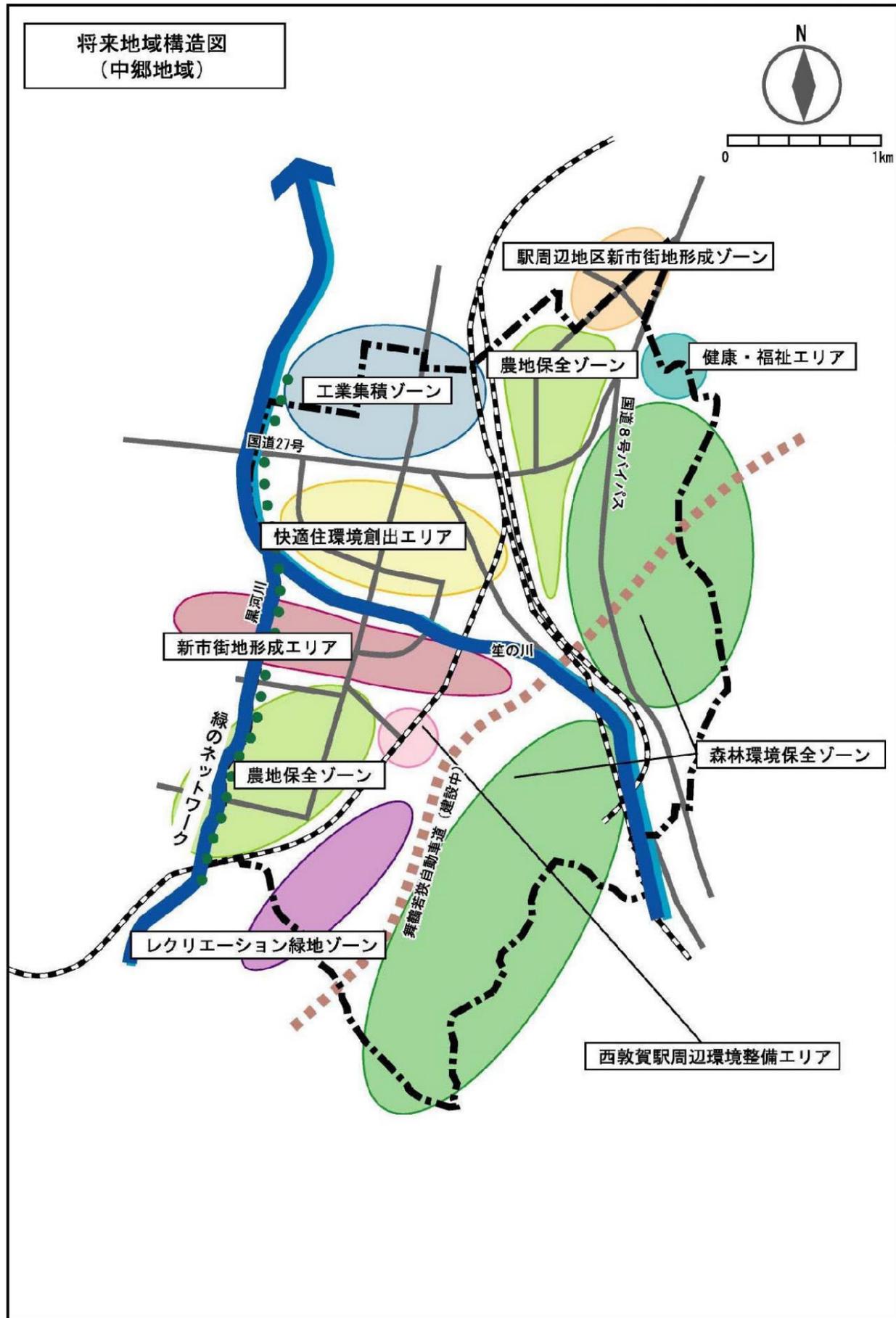
2. 現行計画の評価

- 平成21年度に改訂し、2020年をもって将来目標年次を迎えた現行計画について、市関係各課の実績をヒアリングし、達成状況を評価しました。

土地利用の方針 〈都市的土地利用〉	住居系土地利用	・古田刈地区については国道27号とのアクセスによる利便性の向上や地区内の緑化推進により、快適な住宅環境の整備を図ります。	
	商業系土地利用	・幹線道路沿線における沿道サービス型商業施設の誘導立地を進めるとともに、広告規制や沿道緑化等により、魅力ある商業環境の創出に努めます。	
	工業系土地利用	・住宅地への隣接や、一部住居系との混在が見られますが、周辺環境に配慮しながら、工業地としての良好な環境の維持に努めます。	
	概ね達成	用途地域に基づく開発事業者に対する指導・助言、景観条例及び屋外広告物条例に基づく規制。	
土地利用の方針 〈非都市的土地利用〉	自然環境保全エリア	・地域南東部の森林地域の保全を図ります。	
	農地保全エリア	・山泉地区の農地保全に努めます。	
	レクリエーション環境保全エリア	・レクリエーション緑地の保全に努めます。	
	概ね達成	伐採届の審査・指導による適正な森林の利用、国の各種制度の活用による農地・農村の保全など。	
環境等整備方針 〈都市緑地整備の方針〉	<ul style="list-style-type: none"> 笙の川沿川の緑化を図ります。 地域南東に見られる森林地域の保全を図ります。 	概ね達成	伐採届の審査・指導による適正な森林の利用。
環境等整備方針 〈景観形成の方針〉	<ul style="list-style-type: none"> 笙の川、黒河川周辺の河川景観の整備によるうおいのある景観形成と西敦賀駅周辺地区の景観の整備による拠点的な景観づくりを図ります。 	概ね達成	河川に堆積した土砂の浚渫及び河川敷の除草等による河川景観の保持。
環境等整備方針 〈都市環境形成の方針〉	<ul style="list-style-type: none"> 笙の川、黒河川の水質浄化のため、排水環境の改善を図るなど、清らかな清流を復活させる対策を行います。 敦賀駅の背後地については、都市環境改善地区とし、新幹線整備計画の具体化を契機として駅周辺の新たな整備計画との連携を図ります。 地域南東の森林地域の保全・育成に努めます。 	概ね達成	河川に堆積した土砂の浚渫及び河川敷の伐木除草、伐採届の審査・指導による適正な森林の利用。

現行計画(平成21年度改訂版)における「将来地域構造図」・「将来地域整備等方針図」は次ページのとおり

● 現行計画における将来地域整備等方針図（中郷地域）

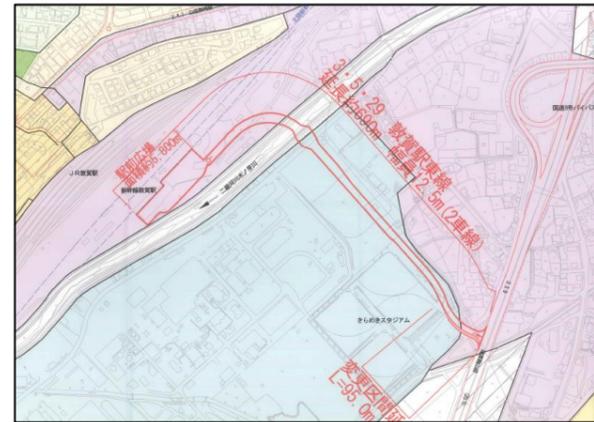


3. (1・2を踏まえた) 地域における現況と課題

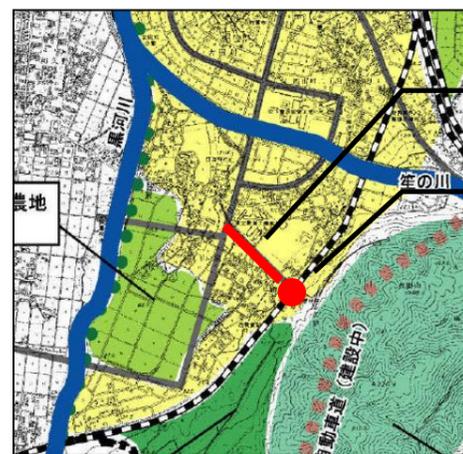
- 北陸新幹線敦賀開業に向けて、駅東周辺において関連施設の建設が実施されています。(新幹線車両基地、消雪基地、変電所等)
- 都市計画道路(敦賀駅東線)の整備工事が進められており、国道8号バイパスと敦賀駅とを結ぶアクセスの強化が見込まれています。
- ふるさと夢街道が整備されたが、一部区間における交通渋滞の緩和など、交通の円滑化が求められています。【地元】
- 長期未着手となっている都市計画道路について、廃止を含めた見直しの検討が求められています。
- 集落・優良農地保全地域は、土地利用調整条例により住宅の開発をコントロールしています。
- 工業集積ゾーンへの住宅立地による住工混在化が見られます。
- 国道27号バイパス沿いにはロードサイド型の商業施設などが立地しています。



(敦賀車両基地イメージ図)



(都市計画道路(敦賀駅東線)計画図)



都市計画道路(西敦賀駅前線)

西敦賀駅



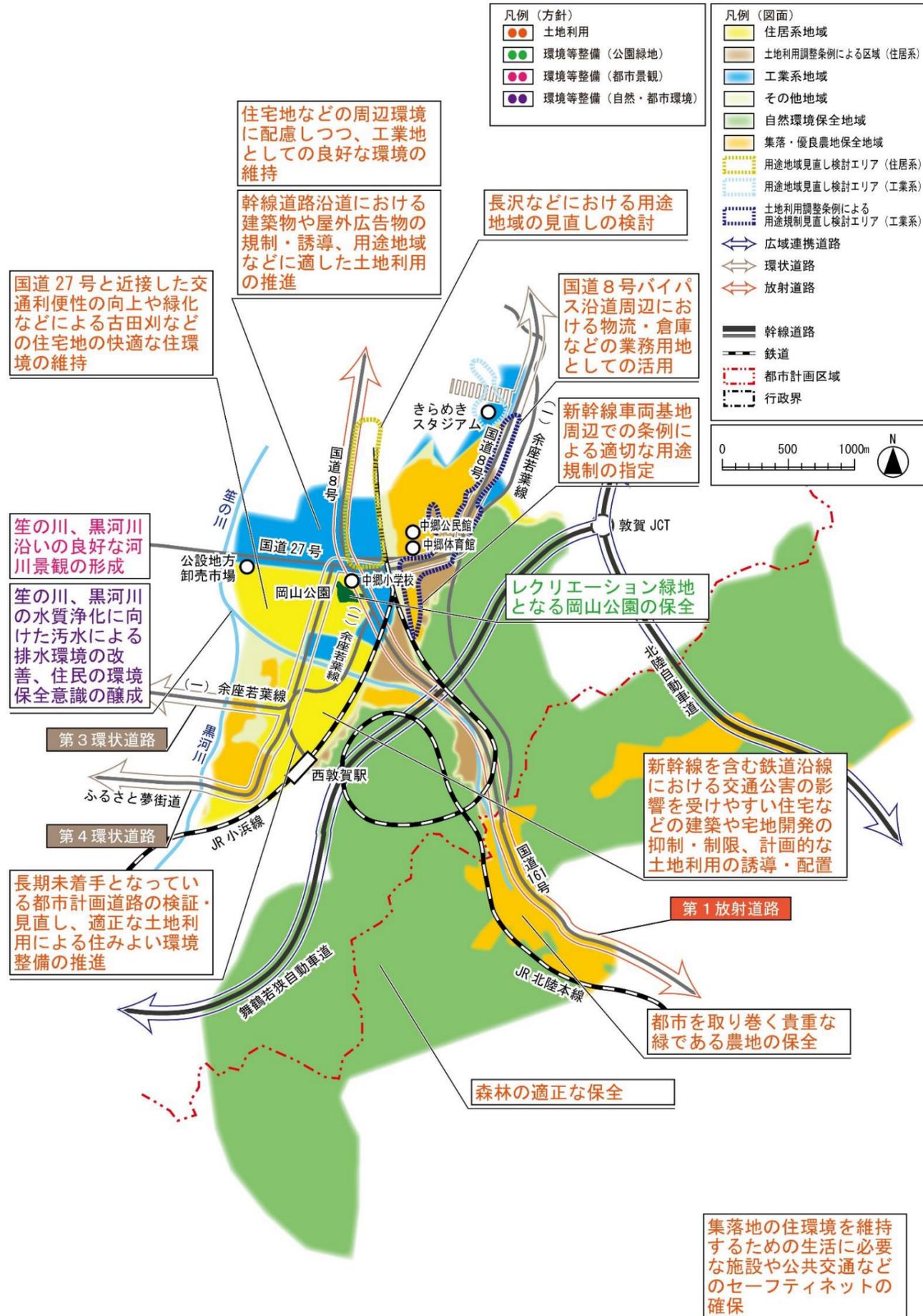
4. まちづくりのテーマ・将来に担うべき都市機能

4-1 まちづくりのテーマ

交通の要所を活かした交流のあるまち

4-2 将来に担うべき都市機能

- **敦賀駅東周辺の新しいまちづくり**
 敦賀 IC との近接性を活かしながら、敦賀駅東周辺における新しいまちづくりを推進します。
 <基本的な考え方>
 ・北陸新幹線敦賀開業に向けて、車両基地や消雪基地などの新幹線関連施設の建設が進められています。
 ・敦賀 IC にも近接しているといった地域特性を活かしたまちづくりのために、国道8号バイパス沿いの開発や土地利用の規制・誘導を図る必要があります。
- **交通利便性を活かした住環境の維持**
 西敦賀駅周辺については、交通利便性を活かしながら、住環境の維持を図ります。
 <基本的な考え方>
 ・西敦賀駅周辺に形成された住環境は、今後も維持していくことが求められています。
- **優良農地の積極的な保全**
 地域に広がる優良農地については、今後も積極的に保全します。
 <基本的な考え方>
 ・市街地背後にある集落・優良農地保全地域は、土地利用調整条例により住宅開発がコントロールされていますが、農用区域内の農地の保全が求められています。
- **商工集積による人々の交流が育まれるまちづくり**
 国道8号・27号バイパス沿道については住工混在を改善するとともに、工業施設や商業施設の集積性を活かし、人々の交流が育まれるまちづくりを推進します。
 <基本的な考え方>
 ・市内の中でも工業系の用途地域を多く占めているが、工業地域内で住工混在が進行しており、改善を図るために工業・商業の立地エリアとして強調する必要があります。
 ・ロードサイド型の商業・業務施設の集積を誘導し、広域幹線道路沿道にふさわしい土地利用を推進する必要があります。



中郷地域 土地利用の方針

用途地域・条例による区域内	住居系地域	<ul style="list-style-type: none"> 古田刈などの住宅地は、国道27号と近接した交通利便性の向上や緑化の推進により、快適な住環境を維持。 新幹線を含む鉄道沿線では、交通公害の影響を受けやすい住宅などの建築や宅地開発を抑制・制限し、計画的な土地利用を誘導・配置。 国道8号バイパス沿道周辺は、沿道にふさわしい業務の利便性の増進を図るため、物流・倉庫などの業務用地として活用。 長期未着手となっている都市計画道路の検証・見直しを行い、適正な土地利用を図りながら、住みよい環境整備を推進。
	工業系地域	<ul style="list-style-type: none"> 住宅地の隣接地や混在地については、周辺環境に配慮しながら、工業地としての良好な環境の維持。 長沢及び布田町内の住工混在の改善を図るため、用途地域の見直しを検討。 幹線道路沿道では、土地利用の現況を考慮した上で、建築物や屋外広告物の規制・誘導などにより、用途地域などに適した土地利用を推進。
用途地域外	自然環境保全地域	<ul style="list-style-type: none"> 森林については、今後も適正な保全。
	集落・優良農地保全地域	<ul style="list-style-type: none"> 農地については、国の各種制度などを活用しながら、都市を取り巻く貴重な緑として保全。 新幹線車両基地周辺については、条例により適切な用途規制を指定 集落地の住環境を維持するため、生活に必要な施設や公共交通などのセーフティネットを確保

中郷地域 環境等整備方針

公園緑地	<ul style="list-style-type: none"> 岡山公園については、レクリエーション緑地として保全。
都市景観	<ul style="list-style-type: none"> 笠の川、黒河川沿いでは、良好な河川景観を形成。
自然・都市環境	<ul style="list-style-type: none"> 笠の川、黒河川の水質の浄化のため、汚水による排水環境の改善、住民の環境保全意識の醸成を図るなど、清らかな清流を復活させる対策を推進。

敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（中郷地区）

開 催 結 果

■開催概要

開催日	時間	場所	参加人数
2月10日（水）	19:00～20:30	中郷公民館	13人



■参加者からの意見等

	意 見	回 答
●全体構想の方針（案）		
将来都市構造図		
広域連携軸・北陸新幹線	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線が以西に延びていく計画があるが、方針図に路線が入っていないのは、2040年までに工事が始まらないと考えてよいのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 以西ルートについては、環境等の調査が行われているところで、まだ具体的に公表されていないため、方針図には図示していない。 今後、計画の見直し時、公表された内容を反映していきたい。
	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の以西ルートはどのような方向にもっていくのかが見えない。 車両基地のように、都市計画マスタープランになくても、結果的にものが出るような気がする。 	<ul style="list-style-type: none"> 以西ルートについては全く情報をつかんでいないため、具体的に線を描くのは難しい。 大きな方向性としては、広域連携軸のように延びていくと記載した。
	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線の以西ルートを具体的に描くということではなく、市の方針として、例えば山の中に抜ける方向にもっていく、ということ具体的にプランに書かないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 新幹線整備課とどういった形でマスタープランに落とし込めるか改めて調整したい。
中心市街地拠点	<ul style="list-style-type: none"> 北陸新幹線が開業するが、一番気にしているのは商店街で、今後10年後、20年後はどうなるのか。 今もどこを見てもシャッターがほとんど閉まっている。 	<ul style="list-style-type: none"> 市の方針としては、新幹線開業後も、駅西側へ人を誘導していく。 市全体として、中心市街地の活性化に取り組んでいる。
●地域別構想の方針（案）		
将来に担うべき都市機能		
車両基地	<ul style="list-style-type: none"> 全国にある車両基地が立地しているまちを調査などはしているのか。 博多の例では車両基地に駅があり、基地が完成するときには用途地域が指定されている。 車両基地の周りには、整備工場や企業が張り付いてしまうと思うが、土地利用調整条例で規制できるのか。 敦賀でも、敦賀駅と車両基地駅の間を日常的に園児などが行けるような教育施設を持つといった積極的な政策が必要ではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 本市では、用途地域が指定されていない地域を条例により用途規制をかけているため、車両基地周辺についてもきちんと規制をかけて誘導していきたい。 車両基地については、県で新幹線駅を中心とした観光誘客に向けた施策として広域景観整備の話をいただいております、現在適地を調査中である。 教育施設としての使い方も一つのアイデアとして、今後検討したい。

●地域別構想の方針（案）		
土地利用の方針／住居系地域		
道路	<ul style="list-style-type: none"> 西敦賀駅前の都市計画道路の整備を期待していたが、可能性としては薄いのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 市内の交通網、西敦賀駅の利用者数も加味しながら、都市計画道路について廃止を含めた検討を行いたい。 都市計画道路の検討にあたっては、地域住民のご意見などもお伺いしながら進めていく。
土地利用の方針／集落・優良農地保全地域		
集落地	<ul style="list-style-type: none"> 居住を誘導していくとなると、過疎地はどうなるのか。 過疎地には全然力を入れないという雰囲気ではないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 既に集落地に住まわれている方については、住環境を維持していきたいので、セーフティネットの確保ということを記載している。 過疎地は決して見捨てるというわけではなく、きっちり守っていくという方針である。
車両基地	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀市は、用途地域が指定されていないところに巨大な車両基地ができるまちなのか。 これから10年間も、用途地域の指定をせず、放っておくのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 車両基地は、用途地域が指定されていないところであっても、建設を進めることができる。 将来的に、土地利用調整条例により、用途規制の指定を進めていきたい。
土地利用	<ul style="list-style-type: none"> 車両基地や北陸新幹線ができれば、それをどう活用するという観点が計画にないのは、どうということなのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 国道8号や幹線道路の周辺については、工業用地や倉庫などが建てられるようにしたい。
環境等整備方針／公園緑地		
公園	<ul style="list-style-type: none"> 「レクリエーション緑地となる岡山公園の保全」とは、具体的にどうということか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現状の緑地を保全していく。 「レクリエーション」には、人がその場所で余暇を楽しみ、自然にも触れあえるような空間という意味がある。 危険な倒木を整備などにより、公園を保全していくということで、計画に記載している。
●その他		
現行計画評価	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画についての総括はないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 現行計画は、平成21年に改訂を行ったが、これまでにどのようなことが達成されたのかについては関係各課にヒアリングをし、評価を行った。 中郷地域の主な実績としては、舞鶴若狭自動車道の開通や、ふるさと夢街道の整備がある。

敦賀市都市計画マスタープラン策定に関する第2回地域別説明会（中郷地区）

開催結果

●その他		
都市計画マスタープラン	<ul style="list-style-type: none"> 敦賀市も少子高齢化が進行しているが、都市計画マスタープランではどう反映されているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> コンパクトシティを目指していくことを目的に策定した立地適正化計画は、都市計画マスタープランの一部としている。 都市計画マスタープランの策定にあたっては、立地適正化計画の内容（居住誘導や商業や病院といった都市機能の集約）と整合を図りながら進めている。 現在、居住誘導区域外に住まわれている多くの市民の住環境維持を図るために、公共交通を確保していく方針を計画に盛り込んでいる。
	<ul style="list-style-type: none"> 第1回地域別説明会の意見等に対して、具体的にできるものとできないものをはっきりすべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランは、20年後を見据えた方向性、方針を示す計画である。 方針の実現に向けては、別の事業計画により具体的に実施していく。
	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランは、道路の問題や、学校群、人口の問題、産業の問題といったものを含めて、市全体のプランとして作るべきではないか。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランをベースとして、それぞれ関係各課でこの方向性に向かって施策、事業に取り組み、成果を上げていく。 計画策定後も、関係各課にヒアリングをしながら達成状況を確認したい。
公共施設	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランの中で、公共施設は同じ方向性をもって進めているのか。 保育園の統廃合については、都市計画マスタープランに基づいて実施しているのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 保育園の統廃合に関する方針が発表されたが、今後地域住民のご意見などをお伺いしながら進めたいと児童家庭課から聞いている。 立地適正化計画において、保育園や児童施設は誘導施設に位置付けており、都市機能誘導区域に集約していく方向であることから、児童家庭課とも連携しながら進めている。
	<ul style="list-style-type: none"> 中郷地区に住む学生は、自転車で気比中学校まで通っているが、こういった現状を回復するための学校に関するプランは都市計画に含まれないのか。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画マスタープランをベースとして、教育委員会において市内全域にある小、中学校をどう運営していくか、今後検討されるものと考えている。
	<ul style="list-style-type: none"> 以前、中郷中学校建設の提案もあったが、現在、中郷地域から通う学生が多いのに、何故遠いところにある中学校まで通わなければならないのか、疑問に思う。 	<ul style="list-style-type: none"> 都市計画としては、立地適正化計画に基づき、居住を誘導していこうという方向性を示している。 誘導施設には学校も含まれているため、都市計画マスタープランにおいては立地適正化計画との整合を図りながら策定を進めている。

人口	<ul style="list-style-type: none"> 将来像を描く計画だが、人口フレームが出ていない。 2040年には市の人口はどれぐらいになって、中郷地区はどれだけになるのかというのを示してもらわないと話にならない。 	<ul style="list-style-type: none"> 立地適正化計画では、将来的な人口の推移や、地域ごとの将来人口の見通しを記載している。 都市計画マスタープランの将来人口については、総合計画と整合を図りながら記載したい。
	<ul style="list-style-type: none"> 具体的な人口はどれぐらいなのか、具体的な数値を示してほしい。 	<ul style="list-style-type: none"> 中郷地域においては、平成27年のときに6821人、10年後の令和7年には6914人と、100人弱ぐらい増加すると見込んでいる。 令和7年をピークに、それ以降は減少傾向に転じると、立地適正化計画において記載している。